

第6回鎌倉のごみ減量をすすめる会全体会の概要

日 時 平成25年3月26日(火) 18時30分～19時40分

場 所 鎌倉市役所 本庁舎 第一委員会室

出席者 会員 13名(委任状提出者 3名)

鎌倉市

石井環境部長、小池環境部次長兼ごみ減量・資源化推進担当担当課長
谷川資源循環課担当課長、松井ごみ減量・資源化推進担当担当主査
中川ごみ減量・資源化推進担当

配布資料

- ・第6回 鎌倉のごみ減量をすすめる会 全体会次第
- ・資料1 生ごみ減量チーム 平成24年度行動計画および結果
- ・資料1-2 発生抑制 2012年度の活動計画・活動結果
- ・資料1-3 鎌倉市内スーパーマーケットにおけるレジ袋削減の取組み
- ・資料1-4 広報チーム 平成24年度計画と結果
- ・資料 鎌倉ごみ減量をすすめる会 副代表選出用エントリーシート
- ・資料 発生抑制チーム 2012年度 活動報告(パワーポイント)
- ・資料 鎌倉のごみ減量をすすめる会 全体会・運営委員会実施状況

議 題

1. 今年度各個別行動チームの活動経過報告及び来年度活動計画
 - ・生ごみ減量チーム
 - ・発生抑制チーム
 - ・広報チーム
2. 平成25年度代表及び副代表の選任
3. その他
 - ・5/10～12 「第15回かまくら市民活動の日フェスティバル」開催案内
 - ・5/26 「鎌人いち場」開催案内

内 容

開会后、次第順に協議等を行った。

- 1 今年度各個別行動チームの活動経過報告及び来年度活動計画
(生ごみ減量チーム)

詳細は資料1のとおり。

星和城廻自治会等にて連携・交流を行い、市の事業所訪問に同行し情報収集を行った。小・中学校へのごみ・環境教育については実行できなかった。

平成25年度の注力項目として以下の5つを掲げる。

- ・自治会・町内会への働きかけ
- ・関心・興味ある市民との輪をつくる
- ・小・中学校へのごみ・環境教育
- ・事業系生ごみや燃やすごみ削減における行政への協力

- ・ 市との協働体制の強化

(発生抑制チーム)

詳細は資料 1-2 及びパワーポイントのとおり。

市内スーパーのレジ袋削減の取組み調査(資料 1-3)や、エコスポットとして環境に配慮した事業者をクローズアップさせるなどの活動を行った。

平成 25 年度の活動計画として以下の 4 つを掲げる。

- ・ エコスポットをさらに拡大、点(個々の商店)から線(商店街)、面(地域)へ
- ・ 事業者との協働企画(レジ袋削減等)
- ・ 世界遺産登録で注目されるタイミングを活かし、観光客への呼びかけ、巻き込み(メディアを活用、マイバッグ・水筒持参)
- ・ 湧水も含めたオアシスのまちづくり、自販機設置の見直し

(広報チーム)

詳細は資料 1-4 のとおり。

ホームページの開設やパネル作成、展示などを実施。「かまくら市民活動の日フェスティバル」等、イベントに出展した。ロゴの普及は少し不足した。また、会のメンバーによる勉強会は実施に至らなかった。

平成 25 年度の計画として以下の 5 つを掲げる。

- ・ ホームページや紙媒体等により会の活動状況を公開するとともに、多くの市民、事業者の会への参加を呼びかける。(継続)
- ・ 会員へのごみ問題に関する勉強会を行う。(講師は会員、全体会で 1 時間程度を想定。)
- ・ 「環境月間」(6 月)、「3R 推進月間」(10 月)等に因んだ活動を行う。(継続)
- ・ ごみ減量化等推進員や自治・町内会、商工会議所等既存組織との連携を検討する。(継続)
- ・ 他のチームの活動を広報の立場で支援する。(継続)

質疑では「学校教育について市は教育委員会と連携をとるべき。」「カリキュラム作成の段階で声掛けをすべき。」との意見が出た。「現状は、市が開催をお願いし、それに応じた学校の他幼稚園などから依頼に応じて実施している。環境部としてカリキュラム等にまで踏み込むことは難しい」と市が回答した。「各校に配置した生ごみ処理機は有効活用すべき。」「総合学習として取り扱うようにすべき。」との意見があった。

2 平成 25 年度 代表・副代表の選任について

推薦者、被推薦者がそれぞれ発言。代表には 3 名の方から推薦のあった高田さん、副代表には 4 名の方から推薦のあった鈴木昭正さんが選出された。なお、副代表については 2 名の候補者となったため、無記名投票により決定した。

3 その他

5/10~12 に開催される「第 15 回かまくら市民活動の日フェスティバル」に発生抑制チームが作成しているポスター掲示の連絡があった。

5/26 に開催される「第9回 鎌人いち場」に出展することから、会員等の参加依頼があった。

以上